

THAILAND ECONOMIC UPDATE

November 2021

ศูนย์วิจัยกสิกรไทย
KASIKORN RESEARCH CENTER



9月のタイ経済は制限緩和で回復の兆し

▶ 要点

- ▶ 2021年9月のタイ経済は、新型コロナ対策の制限緩和により、上向きつつあります。民間消費・投資は前月に比べ改善傾向にあります。輸出も世界的な景気回復を背景に回復が続いています。一方で、外国人旅行者は低調が続いています。
- ▶ 2021年10月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比2.38%上昇し、前月からプラス成長が続いています。国際的な原油価格の上昇や、需給の逼迫により野菜の価格が上昇したことなどが要因でした。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比0.21%の小幅な上昇で、前月と比べ横ばいとなりました。
- ▶ カシコン・リサーチセンターは、2022年のタイ経済成長率を3.7%増とした最新の経済予測を公表しました。今年見通しの0.2%増から回復しますが、回復ペースは穏やかなものとなると想定しています。タイの回復傾向は続くものの、新型コロナウイルスの感染再拡大や、エネルギー価格急騰などタイ経済のリスク要因も多いとみられます。

▶ タイ経済の動向

2021年9月のタイ経済情報

タイ中央銀行が発表した2021年9月の重要な経済指標によると、新型コロナウイルス感染症対策に関する社会・経済活動の制限が緩和されたことで、タイ経済回復の兆しが見え始めました。民間消費は改善がみられ、輸出も世界的な景気回復を背景に回復が続いています。一方で、外国人旅行者は低調が続いているが、引き続き公共支出が国内経済の下支えする上で重要な役割を果たしています。

9月の民間消費は前年同月比6.8%縮小しました。耐久消費財が11.4%減、非耐久消費財が9.5%減、サービスが6.2%減、旅行者の支出が44.3%減となりました。しかしながら、半耐久消費財は1.1%増でした。

2021年9月のタイ経済指標成長率 (Y-O-Y: 前年比)



一方で、民間投資は、前年同月比5.9%上昇しました。機械・設備を中心とした資本財の輸入が18.0%増、国内の機械販売が7.2%増でした。しかしながら、商用車の購入は9.3%減、建材の販売は2.9%減となりました。建設認可を受けた土地の面積は4.7%減でした。

9月の輸出は、前年同月比17.8%増の229億米ドルとなりました。貿易相手国の需要拡大が後押ししました。また、サプライチェーンの混乱も収まり、工場生産が正常化しています。

工業生産に関しては、前年同月比1.3%減少しましたが、国内外の需要拡大により複数の品目で改善がみられます。また、観光業では、外国人旅行者が低調が続いています。

2021年10月のタイのインフレ率

商務省が発表した2021年10月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比2.38%上昇し、前月からプラス成長が続いています。国際的な原油価格の上昇や、需給の逼迫により野菜の価格が上昇したことなどが要因でした。

品目別にみると、食品・飲料部門は前年同月比0.26%減でした。米・粉製品が8.87%、肉・魚が0.73%それぞれ下落したことで、全体を押し下げました。一方、調味料は5.13%、卵・乳製品は2.02%上昇しました。非食品部門は4.15%上昇。運輸・通信が11.61%上昇し、全体を押し上げました。

一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比0.21%の小幅な上昇で、前月と比べ横ばいとなりました。

図1: 民間消費及び民間投資(成長率:前年比)



図2: 輸出、工業生産、外国人観光客数(成長率:前年比)



図3: ヘッドラインインフレ率及びコアインフレ率

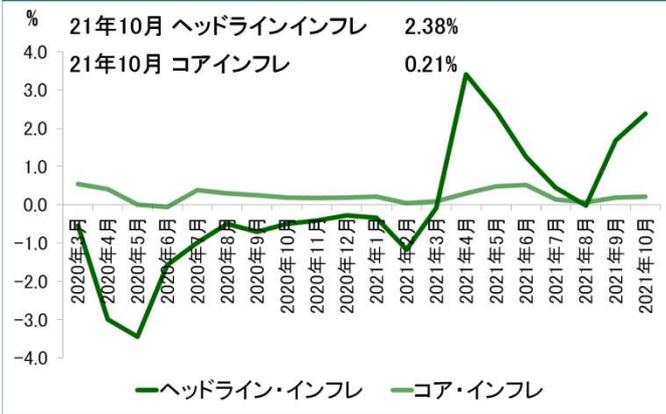


図4: 食品・飲料と非食品・飲料の価格



出所: タイ国中央銀行、タイ国工業省、タイ国観光・スポーツ省、タイ国商務省

2022年のタイのGDP、3.7%成長と予測

カシコン・リサーチセンターは、2022年のタイ経済成長率を3.7%増とした最新の経済予測を公表しました。今年見通しの0.2%増から回復しますが、回復ペースは穏やかなものとなると想定しています。

タイは現在、国際間の人の移動制限が徐々に緩和することで、インバウンド需要の回復が進む見通しです。ただし、タイへの最多の旅行者数を抱える中国は、出入国規制の緩和に慎重姿勢であり、中国人観光客の回復は遅れるとみられます。

2022年の外国人旅行者数は200万人と予測しました。

また、新型コロナウイルスワクチン接種の進展と、感染拡大防止のための規制が予想より早く緩和されたことで、民間消費が順調に回復していくと想定しています。

タイの回復傾向は続くものの、新型コロナウイルスの感染再拡大や、エネルギー価格急騰などタイ経済のリスク要因も多いとみられます。

図5: 2021年～2022年タイ国経済指標の予測

経済指標 (%YoY)	2020年	2021年の10月の予測	
		2021年	2022年
GDP 成長率	-6.1	0.2	3.7
— 民間消費	-1.0	-0.1	3.6
— 政府消費	0.8	3.5	-0.2
— 民間投資	-8.4	3.7	3.2
— 公共投資	5.7	7.8	5.2
— 輸出	-6.0	14.0	5.0
— 輸入	-12.4	27.0	4.0
ヘッドライン・インフレ率	-0.85	1.2	1.6
外国人観光客数 (人)	670万	15万	200万

出所: タイ国家経済社会開発評議会 (NESDC), タイ国商務省 (MOC), カシコンリサーチセンターの予測 (2021年10月)

Disclaimer

This research paper is arranged for public information, which has been obtained from sources believed to be reliable. KResearch does not warrant its completeness, reliability or accuracy for commerce or fitness for a particular purpose. The information contained herein may be subject to change at any time without notice. Reliance upon any information contained herein shall be undertaken at a user's own risk KResearch shall not be liable to any user, or anyone else for any damage occurring from the use of any content herein. Nothing in this research paper shall be counted as containing any advice, recommendation or opinion for decision making in business.